

### 第3章 計画策定のプロセス

#### 1 住民参加の取り組み概要

##### (1) まちの将来像と公園のあるべき姿を一緒に考えることで相乗効果を期待する

明野ヶ丘公園は町を代表する総合公園であり、まちづくりを考える上で、交流や賑わいの拠点となる都市施設である。公園の再整備は市街地と深く関係することから、まちの将来像と公園のあるべき姿を表裏一体で考えていくことでの相乗効果を期待する。検討の過程では、まちづくりの考え方と公園の再整備のあり方の二つのテーマで話し合いを進めた。

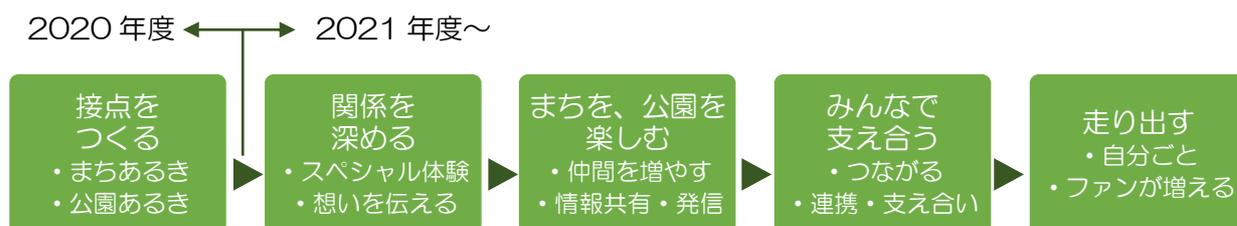
##### (2) 専門家からの情報提供

ランドスケープデザイナー柏倉一統氏((株)キノ花園計画代表取締役)と幕別町在住のガーデンデザイナー佐藤未季氏(未季庭園設計事務所代表)の2人にオブザーバーとしてワークショップに参加していただいた。

両氏は、旭川市の北彩都ガーデンを始め町内日新の十勝ヒルズなど多くのデザイン・設計に携わり、2019年には花のオリンピックと称される「チェルシーフラワーショー」において、ゴールドメダルを受賞した。仕事柄、ワークショップの経験も豊富であることから、様々な見地から意見や情報提供をいただいた。

##### (3) ファンを増やす取り組み

町民主体の再整備計画づくり、公園の利活用を実現させるためには、行政主導で作りすぎない、マネジメント型プランニングが重要である。設計、デザインは町民のもの、という考え方で計画づくりに取り組むことを基本に、幕別のファンを増やす、公園のファンを増やしながらか、まちづくりへ、公園の再整備への関心を高めていく。ファンづくりは、5つのステップを設けて中長期的に増やしていく取り組みとする。



##### (4) ファン・プロジェクト・まくべつ等、町民参加の実績

町民参加の場づくりは、ワークショップだけではなくイベントやヒアリングなどを通して多面的に行うことで、多様な意見の収集を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあってワークショップは延期が続いたが、その結果、公園での紙袋ランタンイベントを実施することとなり、結果的に町民が主体的に関わる機運の醸成に繋がっている。

## (5) 幕別みらい物語づくり

子どもたちは、まくべつのまちや公園がどうなったらいいかを想像しながら「幕別みらい物語」を絵本として作成し、将来の夢を描いた。物語の結末はハッピーエンドと爆発エンドに分かれ、子どもらしい楽しい発想で出来上がった。



## (6) ワークショップ、ヒアリング、社会実験を重ねる

子育て世代のお母さんも含め、20代から70代の参加者がまちの将来像、公園のあるべき姿について意見交換を行った。顕在化した課題を解決するためにどうしたら良いか、あるべき姿の実現のためにはどんなことができるか、について議論を行った。



## (7) 住民参加の取り組み一覧



## (8) 意見交換から顕在化した課題

住民参加による意見交換から、3つのまちの課題、2つの公園の課題が浮かび上がってきた。

●まちの課題1：活力に欠ける  
若い人がおらず、空き家も増えていてまちが暗い。

●まちの課題2：資源の活用  
地域の豊かな資源が活かされていない。

●まちの課題3：PRの不足  
いいものがたくさんあるのに知られていない。

●公園の課題1：施設の老朽化  
平成2年の全面供用開始から30年が経過、施設の老朽化が進行している

●公園の課題2：利用者の減少  
人口減少、少子高齢化、施設の老朽化と共に、公園利用者が減少している

## 2 住民参加の記録

### ○第1回ワークショップ 結果

#### 1 開催概要

■日時：令和2年10月24日（土）13：30～16：00

■場所：明野ヶ丘公園・町民会館2階講堂

■参加者：29名（うち大人17名、子ども12名）

幕別町 2名

オブザーバー（佐藤氏、柏倉氏） 2名

株式会社KITABA 4名

#### ■プログラム

時間	内容（大人ワークショップ）
13：00 （30分間）	受付開始
13：30 （5分間）	開会 ・取り組みの経緯、予定について説明
13：35 （10分間）	本日のスケジュールとプロジェクト説明 ・取り組みの流れ、今年度の取り組み、本日のスケジュールの説明
13：45 （30分間）	現地確認 ・しおりの順路に沿って園内確認 ・ピラ・リから幕別のまちを見て気づいたこと、公園を歩いて気づいたことについて各自メモを取る
14：15 （30分間）	町民会館へ移動 ・到着次第、随時休憩
14：45 （15分間）	アイスブレイキング&自己紹介 ・プレストカードの山からカードを1枚引き、イラストを元に、架空の昨日見た夢を話す
15：00 （50分間）	意見交換 ・現地確認をした際にメモした、まちを見て気づいたこと、公園を歩いて気づいたこと、を白紙の「気づきカード（2枚）」にそれぞれ記入する。  【テーマ①「こうなったらいいな幕別の街」】 ・プレストカードの山からカードを1枚引き、気づきカードと合わせて、こうなったらいいというアイデアを考え、順番に発表 【テーマ②「こうなったらいいな明野ヶ丘公園」】 ・プレストカードの山からカードを1枚引き、気づきカードと合わせて、こうなったらいいというアイデアを考え、順番に発表
15：50 （10分間）	まとめ、閉会 ・大人・子どもの各グループより発表 ・オブザーバーよりコメント ・閉会

時間	内容 (子どもワークショップ)
13:00 (30分間)	受付開始
13:30 (5分間)	開会 ・取り組みの経緯、予定について説明
13:35 (5分間)	本日のスケジュールとプロジェクト説明 ・起承転結ごとに幕別のまちのみらい、公園のみらいがどうなったらいいかを物語を制作
13:40 (20分間)	アイスブレーキング&自己紹介 ・プレストカードの山からカードを1枚引き、イラストを元に、架空の昨日見た夢を話す
14:00 (45分間)	物語づくり① 【起】 ・プレストカードの山から各自カードを1枚引き、カードのイラストを元に物語の始まりを考える。みんなのアイデアをつなげて一つの物語の始まりを制作 【承】 ・始まりを受けて物語が進む場面を各自考え、アイデアをつなげて話を制作
14:45 (15分間)	休憩
15:00 (50分間)	物語づくり 【転】 ・物語が急展開する場面を各自考え、アイデアをつなげて話を制作 【結】 ・みらい物語を各自考え、アイデアをつなげてお話をまとめる
15:50 (10分間)	まとめ、閉会 ・大人・子どもの各グループより発表 ・オブザーバーよりコメント ・閉会

## 2 開催の様子



開会の挨拶



現地確認



現地確認



現地確認



現地確認



現地確認



現地確認



現地確認



意見交換



意見交換



物語作成

### 3 意見交換の結果

#### ■A テーブル

##### (1) こうなったらいいな幕別のまち

###### ①農業と暮らし、自然の風景を大切にしたいまち

- ・ピラ・リから町を望むと、360度のパノラマがある。まちや畑、山などの色々なパーツが組み合わさって、きれいな風景ができあがっている。それぞれの角度にそれぞれの景色が1度ごとに違う魅力がある。
- ・まちの半分から左が町の風景、半分から右が畑の風景、山が背景になっている。
- ・畑、青空、紅葉、木々の色など、自然を感じられる十勝らしいまちなみが見える。
- ・普段はあまり気に留めないものも、改めて見ることで町の良さの発見につながる。
- ・農業の景色が良いので残していきたい。

###### ②子どもの権利を尊重する子ども主体に考えたまち

- ・子どもの権利条例制定のまちとして、自然が豊かで食が豊かであり、子どもたちの活動を大人が笑顔で見守られるまちになってほしい。
- ・子どもを主体に考えたまちづくりをしたい。

###### ③安心・安全な生活環境が整うまち

- ・静かで落ち着くまちだが、若い人がおらず、空き家が多い。
- ・健全な心は良き眠りから得られることから、静かにゆったりと眠れるまちだが、安心安全な生活環境で若い人にも住んでもらえるまちにしたい。
- ・安心・安全な水道水がいつまでも飲めるようにしたい。
- ・安心・安全に眠れるまちの環境を守りたい。

###### ④農業と教育で一番のまち

- ・幕別町では学校を核とした地域づくりをしており、教育の環境がとても良い。また、教育のレベルが高く、のびのびと子どもが育っている。
- ・農、教育、食、住の幕別らしさをアピールしたい。
- ・将来の子どもたちが、幕別が〇〇で一番だと言えるものを自分たちが作っていきたい。その一つに農業があると思う。

###### ⑤幕別ならではのスポーツを活かしたまち

- ・会議の参加メンバーに若い方が多くて希望が持て、心強く思えた。
- ・パークゴルフをもっとPRして、盛り上げていきたい。無料でパークゴルフができることも、もっとPRしていくべき。
- ・パークゴルフが終わったら、そのまま帰ってしまう人も多いため、そこから観光やレクリエーションを楽しんでもらい、「泊まる」「食べる」などつなげていきたい。

## ⑥見て楽しむ花でおもてなしするまち

- ・まちなかに自然があまりないため、昔あったツツジのお祭りのように、ツツジや桜がいっぱいになるようなまちにしたい。来訪者は「きれい」や「かわいい」に惹かれる。
- ・案内看板などがなくても、まちから明野ヶ丘公園までたどり着けるように、芝桜などのお花でまちから公園を繋ぐ。
- ・幕別の入り口から花を植える通路を作り、明野ヶ丘公園で満開の様子が見られると良い。
- ・将来に向けて人が来るように、ピンクなどに色を揃えて、芝桜を植えてはどうか。

## ⑦育てる農から食べる農までを体験できるまち

- ・「植える」から「食べる」ところまでを体験できる農業体験を行ってはどうか。幕別の特徴がよく出ると思う。
- ・収穫体験はよくあるが、植えるところから体験できることがおもしろい。
- ・「植える」から「食べる」ところまで行くと、長期滞在にも繋がり、長く幕別に関わってもらえることができる。
- ・幕別では1次産業から6次産業まで味わうことができる。

## ⑧魅力が発信されているまち

- ・幕別には資源がたくさんあるのに知られていない。何か発信力があると1回来るきっかけとなり、1度きてもらえればリピーターに繋がる。
- ・資源を世界や全国に発信できるまちになると、幕別に移住者が増え、活気あるまちになる。
- ・若者の口コミを使って情報発信をしたい。

## ⑨企業と連携して取組むまち

- ・ニッタクスの技術や歴史が素晴らしい。
- ・企業の技術や歴史を継承すると、作家やアーティストが集い、新たな魅力が生まれるのではないか。
- ・ニッタクス等、地元企業を巻き込んで家ではできないような体験ができるイベントができると良い。

## ⑩人や地域が交流するまち

- ・幕別町の立地がすばらしい。根釧地方、オホーツク方面から人を呼んで人を交流させられるのは幕別だと思う。
- ・十勝地方の拠点や、ワーケーションの地になりうる。
- ・食・スポーツ・芸術があって、みんな元気うまく組み合わせれば見えてくる。
- ・近隣市町村の方々など、まちの人以外の人も交流し、「楽しむまち」というのを演出していく。

## (2) こうなったらいいな明野ヶ丘公園

### ①メンテナンスの負担が少ない公園

- ・現状の公園のメンテナンス状況が気になる。もっとしっかりとメンテナンスできるとイメージが良くなる。
- ・大きな施設を整備しては、今後もメンテナンスが大変になることが予想される。現在は無料で利用可能な施設も、再整備をきっかけに利用料を取って、メンテナンスをしっかりとできるような仕組みにすると良い。
- ・明野ヶ丘公園には車がないと来づらいため、パークゴルフを明野ヶ丘公園で行っている人があまりいない。どこかに集約するなども考えられる。

### ②夜も楽しめる公園

- ・夜は星空も美しい。公園に街灯がないため、夜景がきれいに見える

### ③自然の中で四季を通じて利用できる公園

- ・スキー場を夏場も何か利用できるようにするなど、年中活用できる仕組みづくりを行うと可能性がたくさん広がるだろう。
- ・冬は公園でスキーやスケートリンク、雪山など、冬を体験できると良い。夏は、手ぶらで行けるキャンプ場など、気軽にキャンプを行えとお母さんたちも楽になれ、人気が出るだろう。
- ・明野ヶ丘公園は自然にあふれた環境で立地が良いため、今の環境を維持していきたい。
- ・スポーツやスキー、キャンプなど、手ぶらで来てもできるような貸し出しの仕組みを作ってはどうか。

### ④ピラ・リを活かした公園

- ・屋根もあるため、ピラ・リをまちと公園をつなぐピラ・リカフェにする。
- ・電源等の貸し出しを行えば、ピラ・リ（カフェ）はワーケーションの場になりうる。
- ・カフェをやってみたい方が日別で借りられるシェアカフェを行うなど、自由に使えるような場であると良い。
- ・イベント的に使えるように、個人で電源や水などを使わせてもらえとお茶会ができる。それがここのカフェの特色になりうる。
- ・ピラ・リをカフェとして活用する場合は、地域で取れたはちみつを使ったスイーツの販売などが考えられる。
- ・ピラ・リは特徴的であるため、コスプレやミッションの会場として活用してはどうか。

### ⑤町民が自由な発想で使いこなし楽しめる公園

- ・家族が何かを持ち寄って、自分たちの発想で自由に遊べる空間にしたい。
- ・町民ひとり一人がつくっていく公園にしたい。その際に行政はノーばかり言わず、OK を出してほしい。

- ・パークゴルフもアスレチックも不要である。与えられるのではなく、自己責任で町民ひとり一人が自由に表現して作っていく場にしたい。
- ・Wi-Fiがあると仕事もできる。
- ・現地調査の際に、デートしているカップルを見かけた。ゆっくりと公園で過ごすには、ベンチが少し足りないと思った。

## ⑥様々なイベントを楽しめる公園

- ・星、気象、動物など、展望と林を活かしたイベント・観察会を実施したい。
- ・幕別の食のイベント、コスプレ、ラベンダー、花の公園があったら良い。
- ・冬はスキー、しばれ体験ツアーなど、自然を活かしたアクティブラーニング（学芸員）ツアーなどがあると良い。
- ・彩凜華のように1日だけライトアップする日を作る。
- ・人が集まるイベントを行い、今後の公園やまちのことを考えると良い。
- ・1day アウトドア（デイキャンプなど）を楽しめるフェスを行う。
- ・公園を知ってもらうためにはイベントを実施したら良いと思う。和牛祭り、どんぐり祭りなどのイベントが考えられる。
- ・アーティストを呼んで野外フェスを実施する。
- ・他地域で行っているイベントを幕別町で誘致する

## ⑦四季の移ろいを大切にしたい公園

- ・背景には阿寒まで見える。足元には畑が見え、格別な風景である。
- ・自然環境が素晴らしい。秋は紅葉が美しい、春の花、夏の花、冬の白さ、季節の香りを感じられるような公園にできれば良い。
- ・幕別町の日常は本州の人から見ると素晴らしい環境である。
- ・夏のイメージが弱いため、オールシーズンで四季を楽しめる植栽があると良い。
- ・公園内にリスがいる。施設の案内版ではなく、自然を感じられるようにリスの散歩道などの看板があると良い。
- ・動物をモチーフにしたベンチがあったことに気づいたので、他に動物のデザインのモニュメントや施設があると視覚的に楽しいと思う。

## ⑧学習や発表の場となる公園

- ・自然教育、アウトドア、ワンデイキャンプを学べる、子どもが集う明野ヶ丘学校を開校する。
- ・コンサートや学校の発表会の場とする。

## ⑨地元企業(産業)との協働でつくっていく公園

- ・商店街など、地元にお金が落ちる仕組みができると良い。
- ・イロイロフェスタなど民間企業の力を借りて行うことが考えられる。
- ・地元企業に協力してもらい、イベントの際の備品等をつくり、幕別の良いところをPRしな

がらつくっていく。

- ・一次産業を大切にすることが、明野ヶ丘公園からの景観も維持することにつながる。その景観が地域の元気をアピールしてくれる。

## ⑩魅力を発信している公園

- ・認知度を上げるには、PRが大切である。
- ・若い方にはSNSで発信してもらおう。口コミが一番である。

## ■B テーブル

### (1) こうなったらいいな幕別のまち

#### ①列車が止まるメリットを活かした賑わいがあるまち

- ・車で来る人もいるが、列車が停まるというメリットがある。
- ・駅前がメイン通りとしてもっと賑わいがあっても良い。
- ・パークプラザにはカフェがあって時間が過ごせる場所がほしい。公共施設に暖を取りに来る人もいる。
- ・静かな町で、建物も、この財布のように決して新しくないけれど、アイデア次第で面白いまちになるだろう。

#### ②空き店舗が活用されているまち

- ・シャッターが閉まっている店が多い。
- ・シャッターが開いてからでないと、その日の出店内容が分からないようなびっくり箱のようなお店があると面白い。
- ・ワンデーシェフのお店のように、違う人が日替わりでやるようなお店があると良い。
- ・そのような面白い店があれば、行くきっかけになるかもしれない。

#### ③まちの玄関口の賑わいがあるまち

- ・旧役場は帯広方面から来るときの玄関口であるため、気になっている。そのため、キレイで明るいまちにするために、まちの玄関口をきれいにしたい。
- ・まちが暗く、人が歩いていない印象がある。入り口は目につくため、大事である。
- ・旧役場が道の駅やパン屋さんになると面白い。そこでまちの物産の拠点としてPRできると良い。

#### ④夜も明るく輝くまち

- ・昼のまちはとてもきれいに見えるが、夜にはもっと明るく輝くまちになったら良いと思う。
- ・時には照明のイベントや、時間を決めてみんなで電気を一斉に消す、または、一斉に着けるというような楽しみ方をしたい。

## ⑤良い景色と美味しい食べ物が楽しめるまち

- ・毎朝、地元（農村）の美味しい牛乳が飲める。
- ・畑と遠くに見える山々が美しい。
- ・美しい形式を見ながら美味しいチーズを食べられる
- ・パンダ焼きのことは知らなかった。かわいい、クマヤキに引けをとらないと思う。
- ・キッチンカーでいろんなお店を出すと楽しいと思う。
- ・パン屋さんができれば良い。
- ・町を一望できるととても気持ちが良い。札内から日高山脈まで見るともっと良い。
- ・景色と美味しい食べ物があれば気分はもっと良くなる。おいしい臭いがあるともっと良い。

## ⑥情報発信の拠点化されているまち

- ・美味しいお店はあるけれど、分散している印象がある。空港からの人の導線を考えて拠点化してはどうか。
- ・情報発信をもっと強化していくべき。個人で行うよりも、みんなで協力して発信したい。

## ⑦マウンテンバイクコースが活用されているまち

- ・マウンテンバイクコースをもっと活用したい。
- ・大会等を実行したら人が集まるかもしれない。

## (2) こうなったらいいな明野ヶ丘公園

### ①今あるものを手入れして生まれ変わる公園

- ・現在でも、公園からの眺めはきれいである。
- ・今あるものを見直してみてもっと整備し直してみてもどうか。
- ・小学生が作ったコンクリートアート（100周年記念手形）がボロボロである。
- ・さくらコースで直接パークゴルフの道具を借りることができたら便利である。
- ・子どもが遊べる、老人が遊べる、星が見えるなど、いろいろなドアがあったら良い。

### ②使いこなすしかけがある公園

- ・自由に遊べる貴重な森であるが、何をして良いかわからない。
- ・森の中に森の精のようなゆるキャラがいて、探すような仕掛けをすると遊び方が楽しみながら分かるのではないか。

### ③気になるキャッチコピーがある公園

- ・「体力がある人だけが行ける公園」「行きにくい公園」をキャッチコピーにすると、気になる人が出てくるのではないか。
- ・キャッチフレーズや良いネーミングがあると良い。
- ・パワースポットとしてアピールしてみてもどうか。

#### ④地元の人が毎年行くしかけがある公園

- ・ 植樹をし、自分が植えた木を「私の木」として、それを毎年見に行く。
- ・ 学校などで行く機会を作ると良い。

#### ⑤施設・設備が整った公園

- ・ 「景色がすばらしい、なんと言っても楽しい」と言ってもらえるような施設がほしい。
- ・ やはり、楽しむにはそれなりの施設がほしい。特に、カフェ、レストラン、そして、子どもたちの遊べるものがほしい。ちょっとしたおみやげ物もあると良い。
- ・ もっと大勢の人に長く滞在してほしい。良い場所なのに、すぐに帰ってしまうと少し寂しい。
- ・ ピラ・リまでの距離が遠い
- ・ トイレなども手入れが行き届かないといけない。もう少し多くしてほしい。
- ・ キャンピングカーも来るので、キャンプ場、水場、遊具、浴場などがあると良い。
- ・ 冬キャンプができるようにしても良いのではないかな。
- ・ パークゴルフで来た人に向けて、無人でパークゴルフ用品をレンタルしてくれる自動販売機のようなものがあると便利ではないかな。

#### ⑥周辺のまちと連携した取組がなされている公園

- ・ 周辺のまちと連携して、3日くらいかけて対象地域をめぐる野外フェスのようなものがあつたら良い。
- ・ 宿泊施設も他のまちと協力すればマイナスをプラスに変えられるのではないかな。

#### ⑦柏の木の有効活用がされている公園

- ・ 公園内が暗いので木を切って明るくしたい。お金をかけずに持続可能に取り組むために、切った柏の木は無駄にならないように再利用する。
- ・ 柏の木の良さを活かし、中高生の学習の場にも木を活用する。
- ・ 作ったもの、作ることを持続可能にしていく仕組みがあると良い。
- ・ 切った木でパークゴルフスティックを作る。
- ・ 切った木を有効利用して、すべての世代が年に1回は来る機会があると良い。

#### ⑧景色と食べ物を楽しめるイベントがある公園

- ・ ご来光と共にリフトで頂上へ行く初日の出イベントの実施
- ・ 公園内に屋根があるとところがピラ・リしかない。テイクアウトで食べられるところがほしい。

## ■子どもワークショップ「みらい物語をつくろう！」

子どもたち12名を対象として、テーマをもとに起承転結に分けた「みらい物語」を作成してもらった。

物語作成のヒントとして、「まくべつプレストカード」を使用した。

子どもたちの希望により、「ばくはつエンド」と「ハッピーエンド」の2種類の終わり方が生まれた。

### ●完成した「みらい物語」のストーリー（概要版）

#### 【起】

ある日、魔法使いの女の子が犬を連れて明野ヶ丘公園を散歩していました。丘を降りると、そこには心霊スポットとして有名な、「歌が聴こえる廃病院」がありました。その前を通った時、女の子はテーブルに乗った白い何かを見つけます。よくよく見てみるとそれはいかにも高級そうな牛乳でした。

女の子がその牛乳を開けてみると、中からポワンと白い煙が溢れてきました。中から出てきたのはなんといくつものじゃがいも。女の子はうれしくなって、そのじゃがいもをバッグの中にしめました。

次の日、女の子は昨日拾ったじゃがいもを明野ヶ丘公園で育てることにしました。土の中に埋めて、水をかけたその時、突然ものすごい音と共に女の子はふっとばされてしまいました。なんと、じゃがいもだと思っていたものは爆弾だったのです。

ふっとばされた先はなんとピラ・リでした。女の子がびっくりしていると、突然、どこからともなく声が聞こえてきました。「あたらしい明野ヶ丘公園を作りなさい…。」女の子はその声のいうとおり、明野ヶ丘公園をあたらしく作ってみることにしました。

#### 【承】

公園を作ることを決めた女の子でしたが、どんな公園を作れば良いのかわかりません。そこでまずは、魔法で自分をたくさん増やし、でっかい力もちになりました。

そして目の前のピラ・リを見た時に、とある計画を思いつきます。女の子はまず、ピラ・リを機械化しました。そして、幕別の特産品を売るカフェをオープンすることにしました。とてもうまくいったので、女の子は人が住むための家も建てようとしたのですが、突然あの声が聞こえてきました。「それは公園じゃないのではありませんか？」新しい公園を作ろうとしているのに怒られた女の子は、ふてくされて魔法で出した大福を食べだしました。

そんなときです。突然、見知らぬ二足歩行の巨大な猫が女の子に向かって突進してきました。慌てて公園の中を逃げているうちに、あたりはすっかり暗くなってしまいました。女の子はここでアイデアを思いつきます。光る地面がある公園はどうだろう。さっそく、魔法で地面を光らせてみました。すると、その地面に宝石が埋まっていることに気が付きました。これはきっと高く売れると思い、女の子はやってみたかった整形をすることに決めましたが、宝石はなかなか良い値段では売れませんでした。

落ち込んだ女の子が明野ヶ丘公園に戻ってくると、地面から芽が出ていることに気が付きました。そこは、あの捨てたじゃがいもを埋めた場所でした。そう、爆弾だと思っていたじゃがいもの中に、本物のじゃがいもがあったのです。

### 【転】

女の子はわくわくしながらじゃがいもが育つのを待ちました。ただ待つのではなく、魔法とくすりを使って、じゃがいもをたくさん増やしました。そしてそのじゃがいもを使ったコロックを開発し、特産品を売るカフェで販売することにしたのでした。その結果、謎の声の主からも認められて、一度は怒られた家を建てることを許されたのでした。

何もかもがうまくいくと思っていた女の子でしたが、なんとそのじゃがいもコロックはとてつもなくまずいという理由で、誰からも買ってもらえなかったのです。その結果、女の子は借金を背負うことになってしまいました。

魔法やくすりを使ったのが悪かったのかもしれない、と、女の子はもう一度きちんとしたじゃがいもの育て方を調べて試してみることにしました。しかしなかなかじゃがいもは育ちません。あきらめかけたとき、地面から何かを掘り当てます。

それはなんと、新種のじゃがいもでした。女の子はそれに「インカのめざめ」と名付けました。では、他のじゃがいもはどうして育たなかったのだろう？と思ったとき、地面に何かを見つけます。虫眼鏡で見ながらたどっていくと、そこにはカオチビがいました。手の中にはたくさんのじゃがいも。そう、インカのめざめをカオチビが盗んでいたのです！

泥棒がばれて逃げ出すカオチビを追っていると、突然カオチビの上になりんごが降って大爆発しました。その瞬間、女の子は魔法でチーズ軍を召喚し、カオチビに向かってチーズロケットランチャーを発射しました。そうして、カオチビはやっつけることができたのでした。

「もしよかったら、私と一緒にインカのめざめで料理を作ってみないか？」突然話しかけてきたのは、元三ツ星レストランのシェフであり、今はマンションの管理人をしている 58 歳の男性でした。これまでの女の子のはたらきをずっと見ていたのだそうです。女の子は男性といっしょに、インカのめざめをつかった料理を開発してみることにしました。

### 【結】

女の子はすっかり整形を諦め、公園づくりに力をいれていきました。三ツ星シェフとじゃがいもコロックを開発しながら、遊具の設計をしたり、明野ヶ丘公園のかしわの木の下に敷かれていたふとんをみて、巨大なかしわの葉っぱふとんをつくるアイデアを思いついたりしていました。

そして女の子は、幕別の特産品を売るカフェの店長になり、インカのめざめコロックを販売しはじめました。人気になると、スイートコーン焼きも売れるようになり、お店はすっかり繁盛しました。

ある日、女の子が畑でじゃがいものお世話をしていると、突然サッカーボールとスケート靴が滑り込んできました。なんだろうと近づいた瞬間、ものすごい音と共に爆発が起きました。なんと、せっかく育てたじゃがいもが、なにもかもなくなってしまったのです。夢であってほしいと思った女の子でしたが、あきらめません。次は長いもを育ててコロックをつくり、それを販売し

はじめました。するとなんと、じゃがいもコロッケの100倍売れたのです。そんなとき…。

### 《ばくはつエンド》

突然、お店の中に緑色の四角いモンスターが現れました。女の子がなにかをする間もなく、大爆発が起きます。爆発はカフェをふっとばし、木をふっとばし、明野ヶ丘公園のなにもかもをふっとばしていきました。唯一無事だった長いもコロッケも、謎の声の主である神様がむしゃむしゃと全部食べつくしてしまい、後には何も残らなかったのです…。おしまい。

### 《ハッピーエンド》

突然、全てを破壊する敵や神様が現れました。しかし、女の子はこれまで作ってきたコロッケを食べ、100倍になったパワーと元気、そして魔法で敵を見事にやっつけたのです。

そして、平和が戻った明野ヶ丘公園は、人でにぎわう素晴らしい公園となりました。女の子はそれを見て、「やっぱり明野はいいなあ」と思うのです。めでたしめでたし。

# 第1回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！

令和2年10月24日（土）に幕別のまちや明野ヶ丘公園について考える「ファン・プロジェクト・まくべつ」がスタートしました！

大人17名、小学生12名が集まり、幕別のまちについて、明野ヶ丘公園についてブレインストーミングを行いました。大人も小学生も自由な発想でアイデアを出し合い、わいわいにぎやかでした。



## 大人チーム

### ●現地確認

まずは明野ヶ丘公園を現地確認しました！

ピラリに登り、周辺のまちや畑、遠くに見える山々を見ました。

公園内を散策し、紅葉に染まった豊かな木々や古くなりつつある遊具を確認しました。



紅葉もきれいでした！



### ●ブレインストーミング

#### 「こうなったらいいな幕別のまち・明野ヶ丘公園」

会場に戻り、「まくべつプレストカード」を使って「こうなったらいいな幕別のまち・明野ヶ丘公園」について話しました。



▲まくべつプレストカード

#### プレストで生まれたアイデア（一部）

##### ●こうなったらいいな幕別のまち

- ・子どもたちが「幕別と言えばこれ！」と言えるものを残せるように今の大人が頑張らないといけない。
- ・魅力的なお店や活動はあるので、それらが連携して取り組めるとより波及力があるのではないか。



など

##### ●こうなったらいいな明野ヶ丘公園

- ・町民が関わって作り上げる公園づくりをしたい！
- ・木登りができたり、大人も子どもも自由に使いこなせる公園にしたい。
- ・自然や星空、ピラリなどすでにあるものをより活かしていく方法を考えたい。
- ・キャッチコピーを作ったり効果的な広報が必要！



など

## 小学生チーム

### ●ワークショップ「みらい物語をつくろう！」

明野ヶ丘公園と幕別の未来をテーマに起承転結に分けた「みらい物語」を作成してもらいました！

結末の「結」で幕別や明野ヶ丘公園はどうなるのか！？お楽しみに！



**起**

どこからか「明野ヶ丘公園を作れ」という声が聴こえた魔法使いの女の子は、公園づくりの作業を始めて…？

**承**

明野ヶ丘公園で、女の子はピラリの機械化や町の特産品を売るカフェを開き、するとじゃがいもが…？

**転**

じゃがいもでコロケをつくり一躍有名に！しかし、不慮の事故があり借金を抱えてしま…う…

**結**

どんな結末になるのか！？  
次回の開催をお楽しみに！

## ○第2回ワークショップ 結果

### 1 開催概要

■日時：令和2年11月14日（土）13：30～15：30

■場所：町民会館2階講堂

■参加者：19名（うち大人10名、子ども9名）

幕別町 2名

オブザーバー（佐藤氏、柏倉氏） 2名

株式会社KITABA 4名

#### ■プログラム

時間	内容（大人ワークショップ）
13：00 （30分間）	受付開始
13：30 （5分間）	開会 ・前回の振り返り、今日のスケジュールについて説明した。
13：35 （95分間）	意見交換 【テーマ①「こうなったらいいな幕別の街」】 ・前回の意見交換を整理したテーマの中で最も関心のあるテーマへシール投票をした。 ・2つのテーマを選定し、ディスカッションを行った。 ・ディスカッションの際は5W1H+Fの視点で話した。  【テーマ②「こうなったらいいな明野ヶ丘公園」】 ・前回の意見交換を整理したテーマの中で最も関心のあるテーマへシール投票をした。 ・2つのテーマを選定し、ディスカッションを行った。 ・ディスカッションの際は5W1H+Fの視点で話した。
15：10 （20分間）	共有 ・大人・子どもの各グループより発表した。 ・オブザーバーよりコメントをいただいた。
15：30	・閉会

時間	内容 (子どもワークショップ)
13:00 (30分間)	受付開始
13:30 (5分間)	開会 ・前回の振り返り、今日のスケジュールについて説明した。
13:35 (25分間)	物語の振り返り・見直し ・前回のワークショップで作成した物語の内容を振り返った。
14:00 (70分間)	挿絵の作成 ・物語に合う挿絵を画用紙に描いた。 ・起承転結+2つのエンディングごとに2枚ずつ作成した。
15:10 (20分間)	共有 ・大人・子どもの各グループより発表した。 ・オブザーバーよりコメントをいただいた。
15:30	・閉会

## 2 開催の様子



大人プログラムの様子



子供プログラムの様子

### 3 大人プログラム 意見交換の結果

#### (1) こうなったらいいな幕別のまち

##### ●幕別に住んでいることを誇りに思えるようにする

- ・幕別町民として誇りを持てるようなまちにしたい。
- ・本町が幕別の人だと思っている。地域によって全然特徴が違うと思う。
- ・子どもたちが札内ではなく、幕別に住んでいると言えるようにしたい。

##### ●現在の明るく素直な子どもが育つ環境を守る

- ・幕別は学力レベルも高く、子どもたちも明るくて素直な子が多い。
- ・20年前教員をしていたが、子どもたちが素朴でいい子たちだった。幕別が好きという子も多い。
- ・札内は新しく越してくるような子どもも多いが、連帯感があり、いい子が多い。
- ・トップアスリートを多く輩出しているのも、小中時代に自分たちの才能が生かせる環境があったからだと考えている。
- ・0歳と4歳の2人の子どもがいる。20年前はのびのび育ててもらった。

##### ●地域全体で子どもを育てていく

- ・学校づくりはそのまままちづくりにつながる。地域と学校で子どもたちを育てていくべきである。
- ・ボランティアスクールのように、地域で子どもを育てたい。地域も学校も同じ方向で進むのが良いと思う。
- ・地域で子どもを育てたい。子どもがいない人も能力を発揮できるようにして、地域で子どもを育てたい。
- ・校区の行事に家族で参加していたことを成長しても皆覚えているので、その雰囲気が続けていきたい。
- ・外からの人にもまちづくりに入ってもらえるようにしたい。
- ・若い人は町内会に入っていないなど、人とのつながりが薄いので、参加できるきっかけが必要である。

##### ●まちづくりの担い手を育てていく

- ・子どもたちが減ってきており、今は三分の一くらいの生徒数になっている。まちづくりの担い手となる子どもたちが減っているからこそ、ちゃんと自分たちのまちのことを知ってほしい。
- ・子どもたちの農業体験を通して、まちの産業を知ってもらい、将来の担い手につなげたい。

##### ●高齢になってものびのび暮らしていく

- ・高齢者や学生と関わることが多いが、年をとってものびのび暮らしてほしいという想いがある。

## ●誰のためのまちづくりなのかを考える

- 子どものためなら頑張れる人が多いと思う。
- まずは大人が一つになることが大切である。
- 最終的には地域が豊かになると良い。
- まずは自分のためになる動機があると長続きする。他者のためは聞こえがいいが、続かなくなってしまう。自分のためだと当事者意識が芽生える。
- 自分にリスクがない他人事で考えると、ゼロリスクおじさん・ゼロリスクおばさんになってしまう。
- 地域の活性化は目的ではないので、先に掲げないほうが良い。時間をかけて進めていった先に活性化すると良いと考えている。

## (2) こうなったらいいな明野ヶ丘公園

### ●明るくきれいで、維持管理ができていく公園が理想

- 小さい子どもを連れた家族の中で、遊びに行く場所として名前が挙がる場所となると良い。
- 小さい子どもを連れて行くのであれば、トイレのおむつ替えスペースが必要である。
- ピラ・リの中は暗くいため小さい子どもは怖がってしまう。階段も古く危なく見える箇所もある。今の設備を整えてほしい。
- 作って終わりではなく、きれいに使いやすく維持管理をし続けられるようにしたい。

### ●魅力づくりやきっかけづくりなど人が来るための仕掛け不足

- 公園でのイベントは、昔はライトアップなどをやっていたが、今は設備が古くてやっておらず、現状としてスキーや遠足くらいでしか活用できていない。
- 親子連れに来てもらいたいが、子どもの歳によって、どんな広場・遊具を求めるかわ変わってくる。
- 子どもだけで遊びにくることが出来ない距離なので、親が送り迎えをする必要がある。そのため、行けるタイミングが限られてしまっている。
- 桜の木がきれいに咲いているところもあるが、あまり知られていない。
- 食べられる木の実を植えるなど楽しめる植物を植えてはどうか。
- ボランティアガイドなどピラ・リの意味や植生について解説してくれる人を育成してはどうか。

### ●町内でイベントを開催したい人、団体はあるが明野ヶ丘公園ではやらない

- 100年記念ホールや中央公園ではイベントをやっているのに、イベントを企画して実施している人はいるが、明野ヶ丘公園ではやっていない。
- あえて明野ヶ丘公園を使いたいと思う人を増やさなくてはいけない。
- 明野ヶ丘公園でしかできないことを考えてみる必要がある。
- 明野ヶ丘公園でやることで付加価値があると使われるのではないかと。今はそれが無い。

### ●明野ヶ丘公園でしかできないことを活かす

- ・ピラ・リはキャッチーで目を惹く。名前が分かりにくいので通称「ハッピータワー」のような縁起の良い名前を付けてパワースポットのようにしてはどうか。
- ・休憩所などには落書きがされているが、ピラ・リには落書きされていない。アートの文脈を感じるからだろうか。
- ・斜面は特徴的であるので、斜面を活かしたイベントがあると良い。
- ・明野ヶ丘公園で火を使うスカイランタンをやることを企画していたことがある。市街地ではできず、明野ヶ丘公園でしかできないことと思う。
- ・柏の葉の落ち葉が厚く積もっており、子どもたちにとっては他にない遊び道具になりえる。
- ・周りを気にせず、大きい音を出せる場所でもある。
- ・以前「あなたにとってのリゾートは」と聞かれたとき「ハンモックで読書をしたい」と答えたことがある。人それぞれに理想の時間の過ごし方があるのではないか。
- ・“自由に遊ぶ”ことも大切であるが、“不自由な遊び”には、制限されたことのおもしろさもあるのではないか。

### ●使いたいときに相談する人が「+α」で乗ってくれる受け皿が必要

- ・公園をイベントなどに使いたいときに相談できる受皿になってくれるようなところがあるといい。
- ・受け皿となってくれるところは、イベントの企画に対して更に「+α」で乗っかってくれるとより魅力的な公園の使い方が出来るのではないか。

### ●公園の維持管理費を賄うことができる仕組みが必要

- ・公園の魅力づくりのためのイベントなどを行うとすると資金の問題もあるが、工夫をすればお金をかけずにできることもたくさんある。シーニックカフェなどはあまりお金をかけずに実施している。
- ・現在の条例では公園で利益を出すことは禁止されているが、今後ルールを見直し、公益性に用いられるものは可ということにしてほしい。

## 4 子どもワークショップ「みらい物語をつくろう！」

### ●完成した「みらい物語」のストーリー

#### 【起】

ある日、魔法使いの女の子が犬を連れて明野ヶ丘公園を散歩していました。丘を降りると、そこには心霊スポットとして有名な、「歌が聴こえる廃病院」がありました。その前を通った時、女の子はテーブルに乗った白い何かを見つけます。よくよく見てみるとそれはいかにも高級そうな牛乳でした。

女の子がその牛乳を開けてみると、中からボワンと白い煙が溢れてきました。中から出てきたのはなんといくつものじゃがいも。女の子はうれしくなって、そのじゃがいもをバッグの中にしまいました。

次の日、女の子は昨日拾ったじゃがいもを明野ヶ丘公園で育てることにしました。土の中に埋めて、水をかけたその時、突然ものすごい音と共に女の子はふっとばされてしまいました。なんと、じゃがいもだと思っていたものは爆弾だったのです。

ふっとばされた先はなんとピラ・リでした。女の子がびっくりしていると、突然、どこからともなく声が聞こえてきました。「あたらしい明野ヶ丘公園を作りなさい…。」女の子はその声のいうとおり、明野ヶ丘公園をあたらしく作ってみることにしました。



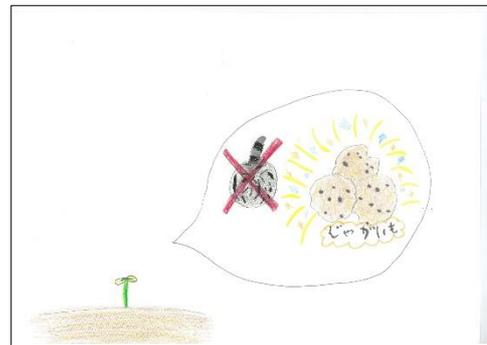
## 【承】

公園を作ることを決めた女の子でしたが、どんな公園を作れば良いのかわかりません。そこでまずは、魔法で自分をたくさん増やし、でっかいカもちになりました。

そして目の前のピラ・リを見た時に、とある計画を思いつきます。女の子はまず、ピラ・リを機械化しました。そして、幕別の特産品を売るカフェをオープンすることにしました。とてもうまくいったので、女の子は人が住むための家も建てようとしたのですが、突然あの声が聞こえてきました。「それは公園じゃないのではありませんか？」新しい公園を作ろうとしているのに怒られた女の子は、ふてくされて魔法で出した大福を食べだしました。

そんなときです。突然、見知らぬ二足歩行の巨大な猫が女の子に向かって突進してきました。慌てて公園の中を逃げているうちに、あたりはすっかり暗くなってしまいました。女の子はここでアイデアを思いつきます。光る地面がある公園はどうだろう。さっそく、魔法で地面を光らせてみました。すると、その地面に宝石が埋まっていることに気が付きました。これはきっと高く売れると思い、女の子はやってみたかった整形をすることに決めましたが、宝石はなかなか良い値段では売れませんでした。

落ち込んだ女の子が明野ヶ丘公園に戻ってくると、地面から芽が出ていることに気が付きました。そこは、あの捨てたじゃがいもを埋めた場所でした。そう、爆弾だと思っていたじゃがいもの中に、本物のじゃがいもがあったのです。



## 【転】

女の子はわくわくしながらじゃがいもが育つのを待ちました。ただ待つのではなく、魔法とくすりを使って、じゃがいもをたくさん増やしました。そしてそのじゃがいもを使ったコロッケを開発し、特産品を売るカフェで販売することにしたのでした。その結果、謎の声の主からも認められて、一度は怒られた家を建てることを許されたのでした。

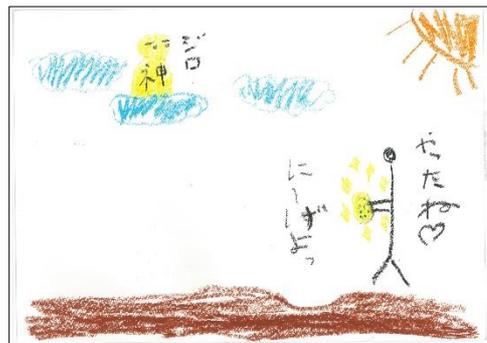
何もかもがうまくいくと思っていた女の子でしたが、なんとそのじゃがいもコロッケはとてつもなくまずいという理由で、誰からも買ってもらえなかったのです。その結果、女の子は借金を背負うことになってしまいました。

魔法やくすりを使ったのが悪かったのかもしれない、と、女の子はもう一度きちんとしたじゃがいもの育て方を調べて試してみることにしました。しかしなかなかじゃがいもは育ちません。あきらめかけたとき、地面から何かを掘り当てます。

それはなんと、新種のじゃがいもでした。女の子はそれに「インカのめざめ」と名付けました。では、他のじゃがいもはどうして育たなかったのだろう？と思ったとき、地面に何かを見つけます。虫眼鏡で見ながらたどっていくと、そこにはカオチビがいました。手の中にはたくさんのじゃがいも。そう、インカのめざめをカオチビが盗んでいたのです！

泥棒がばれて逃げ出すカオチビを追っていると、突然カオチビの上になりんごが降って大爆発しました。その瞬間、女の子は魔法でチーズ軍を召喚し、カオチビに向かってチーズロケットランチャーを発射しました。そうして、カオチビはやっつけることができたのでした。

「もしよかったら、私と一緒にインカのめざめで料理を作ってみないか？」突然話しかけてきたのは、元三ツ星レストランのシェフであり、今はマンションの管理人をしている58歳の男性でした。これまでの女の子のはたらきをずっと見ていたのだそうです。女の子は男性といっしょに、インカのめざめをつかった料理を開発してみることにしました。

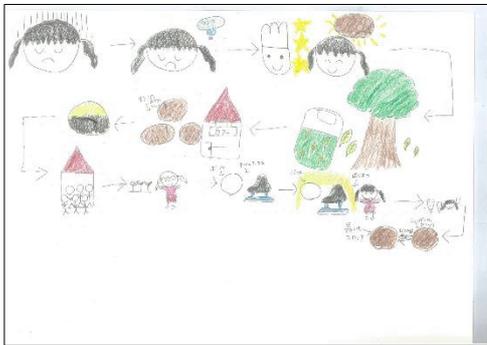


## 【結】

女の子はすっかり整形を諦め、公園づくりに力をいれていきました。三ツ星シェフとじゃがいもコロッケを開発しながら、遊具の設計をしたり、明野ヶ丘公園のかしわの木の下に敷かれていたふとんをみて、巨大なかしわの葉っぱふとんをつくるアイデアを思いついたりしていました。

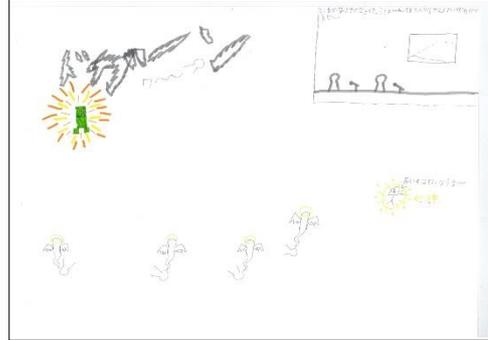
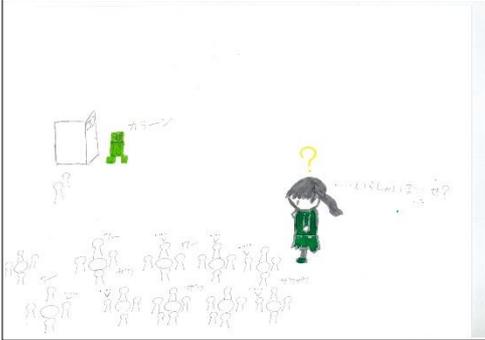
そして女の子は、幕別の特産品を売るカフェの店長になり、インカのめざめコロッケを販売しはじめました。人気になると、スイートコーン焼きも売れるようになり、お店はすっかり繁盛しました。

ある日、女の子が畑でじゃがいものお世話をしていると、突然サッカーボールとスケート靴が滑り込んできました。なんだろうと近づいた瞬間、ものすごい音と共に爆発が起きました。なんと、せっかく育てたじゃがいもが、なにもかもなくなってしまったのです。夢であってほしいと思った女の子でしたが、あきらめません。次は長いもを育ててコロッケをつくり、それを販売しはじめました。するとなんと、じゃがいもコロッケの100倍売れたのです。そんなとき…。



### 《ばくはつエンド》

突然、お店の中に緑色の四角いモンスターが現れました。女の子がなにかをする間もなく、大爆発が起きます。爆発はカフェをふっとばし、木をふっとばし、明野ヶ丘公園のなにもかもをふっとばしていきました。唯一無事だった長いもコロッケも、謎の声の主である神様がむしゅむしゅと全部食べつくしてしまい、後には何も残らなかったのです…。おしまい。



### 《ハッピーエンド》

突然、全てを破壊する敵や神様が現れました。しかし、女の子はこれまで作ってきたコロッケを食べ、100倍になったパワーと元気、そして魔法で敵を見事にやっつけたのです。

そして、平和が戻った明野ヶ丘公園は、人でにぎわう素晴らしい公園となりました。女の子はそれを見て、「やっぱり明野はいいなあ」と思うのです。めでたしめでたし。



# ファン・プロジェクト・まくべつ ニュースレター vol.2

## ●第2回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！

令和2年11月14日（土）に第2回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！大人10名、小学生9名がそれぞれのプログラムに取り組み、前回の話し合いの結果を元に、明野ヶ丘公園と幕別町のこれからについてさらに考えを深めていきました。



### 大人チーム

#### ●「こうなったらいいな明野ヶ丘公園・幕別のまち」

アイデア（一部）



##### ●こうなったらいいな明野ヶ丘公園

- ・公園の資源を活かしきれていないので、「明野ヶ丘公園でしかできないこと」を考えたい。
- ・人が来るための仕掛けが不足している。
- ・公園をイベントなどで使いたいときに相談でき、アイデアに乗ってくれる受け皿があると良い。



##### ●こうなったらいいな幕別のまち

- ・地域全体で子どもを育て、子どもたちが素直に育つことができる環境を守りたい。
- ・「子ども」をテーマにするとみんなで協力してまちづくりに取り組めるのではないか。
- ・次の世代のためのまちづくりでもあるが、まずは自分のためという考え方で当事者意識を持ってまちづくりを進めたい。

### 小学生チーム

#### ●「幕別みらい物語をつくろう！」

新しい明野ヶ丘公園をつくるために奮闘する女の子の物語は、なんとエンディングが2通りとなりました。物語のイメージをふくらませながらみんなで挿絵も描きました。

起・承・転までの物語は前回のニュースレターをご覧ください！



起



承



転



結

##### エンディング①：ばくはつエンド

女の子のお店で大爆発が起き、明野ヶ丘公園のなにもかもをふっとばしていきました。

唯一無事だったコロッケも、謎の声の主である神様がむしゃむしゃと全部食べつくしてしまい、後には何も残らなかったのです。

##### エンディング②：ハッピーエンド

突然、全てを破壊する敵や神様が現れました。しかし、女の子はこれまで作ってきたコロッケを食べ、敵を見事にやっつけたのです。平和が戻った明野ヶ丘公園は、人々にぎわう素晴らしい公園となりました。女の子はそれを見て、「やっぱり明野はいいなあ」と思うのです。めでたしめでたし。



## ○第3回ワークショップ 結果

### 1 開催概要

■日時：令和3年3月13日（土）18：30～19：30

■場所：明野ヶ丘公園 ピラ・リ周辺

■イベント来園者：約250名

■運営スタッフ：57名

一般ボランティアスタッフ（5名）

清陵高校ボランティア（13名）

NPO 法人幕別札内スポーツクラブ（9名）

フォトクラブまくべつ（8名）

ファンプロジェクトマクベツ（13名）

幕別町 4名

株式会社KITABA 5名

### ■プログラム

時間	内容
13：30 (30分間)	荷物搬入等開始
15：00 (5分間)	実行委員集合 ※準備等、開催概要説明
15：05 (175分間)	会場設営 ・ランタン設置場所の整備 ・進入路の整備 ・受付、飲み物提供ブースの設置 ・音響設備の設置 ・ランタン設置 ・駐車場整備
18：00	ランタン着火
18：30 (60分間)	開会（MC：坂口さん） ・開催趣旨説明（KITABA 神長） ・ファン・プロジェクト・マクベツの振り返り ・ランタン鑑賞 ・会場内ヒアリング ・ハーモニカ演奏（坂口さん）
19：30	・閉会、撤収

## 2 開催の様子



### 3 ヒアリングの結果

#### (1) 幕別のまちについて

##### ■幕別町のキラキラ

###### ●町民が元気

- ・元気で前向きな町民が多く、高齢者も活動的

###### ●人がいい

- ・農家の人から野菜をもらえる
- ・近所の方が子どもに優しい
- ・近所づきあいなど人間関係が良い
- ・町民 1 人 1 人が幕別町のキラキラ
- ・夜空の星のように幕別町も人がいるから輝く

###### ●運動公園の夏フェス

- ・再会の場

###### ●美味しいものがある

- ・錦華園や大福屋のたい焼き

###### ●幕別町出身の有名人

- ・スポーツ選手など

###### ●自然、景観、環境が良い

- ・白鳥が畑に飛来する
- ・珍しい動物にたくさん出会える
- ・幕別町とは思えない景色（朝日）が撮影できる場所がある
- ・星空が綺麗に見えるところ

###### ●住みやすい

- ・幕別町は住みやすい地域

###### ●幕別らしさ

- ・トラクターがたくさんある
- ・ナウマンゾウ記念館がある
- ・道が広く運転がしやすい
- ・百年記念ホールの講座やイベントが楽しい

##### ■幕別町をもっと元気にするために

###### ●幕別の魅力を再認識し、発信する

- ・長く住んでいる人は幕別町の魅力に気づいてない。みんなが幕別町の魅力に気が付けばもっと元気になる
- ・町内外に幕別町の魅力を発信できるようになると良い
- ・町民が幕別町の景色のすばらしさを知るところからだと思う

###### ●若者の居場所づくり

- ・学生などが勉強したり飲食ができたたりする気軽に使えるスペースがあると良い。

- ・町の図書館は勉強ができるけど飲食やおしゃべりができない。
- ・時間をつぶしたい時、何もしない時に過ごせる場所があると良い。
- ・若い人が町の行事やイベントに参加しやすくなると良い。

#### ●環境がもっと豊かに

- ・木がもっと増えたら良い。
- ・春は花がたくさん咲いてきれいになってほしい。
- ・町の景色を高いところから見られるような場所や公園がもっとたくさんあると良い。

#### ●移住や利便性

- ・買い物の利便性が高まってほしい。
- ・幕別に引っ越してきたくなる施策  
(マイホームの補助金制度など)

## (2) 明野ヶ丘公園について

### ■明野ヶ丘公園のキラキラ

#### ●自然環境が豊か

- ・年々、桜の花がきれいになってる。
- ・春はニリンソウや芝桜など花を楽しむことができる

#### ●敷地環境が良い

- ・広いのでいろんなことができそう。
- ・設備が整い、環境が良くなった

#### ●眺め、景観が良い

- ・ピラ・リから見下ろす景色が良い。
- ・明野ヶ丘公園には初めて来たが、景色が良いと思った。

#### ●その他

- ・札内在住で普段は来ない。イベントには職場の人に誘われてきた。
- ・明野ヶ丘公園には初めて来た。知人に誘われてイベントを知った。

### ■明野ヶ丘公園をもっと楽しい場所にするために

#### ●公園の情報発信を

- ・公園の情報発信で明野ヶ丘公園に来てもらえるように
- ・地元の人向けに情報発信していく

#### ●新たな機能導入を

- ・夜景を見ながらコーヒーを楽しめたり、ゆっくり過ごせるように
- ・「遊び+癒し」の要素
- ・水遊びや遊具、アスレチックなど季節ごとに楽しめる(ブランコ復活)
- ・火が使える、アウトドア(キャンプ)を楽しめるように(BBQなど)
- ・マウンテンバイクコース
- ・室内で遊べるような施設

- ・ライトアップが行われると良い。

- 自然環境の充実を**

- ・桜や小川など、多様な環境に

- ・四季を通じて楽しめる場に

- アクセス性の改善**

- ・車がないと来られない

- ・幕別駅前からバスが出る（イベント時限定もありか）

- その他**

- ・塔があるだけでは遊べない。

- ・落ち葉でベビーカーが使えない

- ・子どもたちがたくさん集まる場所に

- ・昼間、夜間、四季のイベントなど、多様な企画を

- ・子どもがのびのびと遊べるようなイベントが良い。（そりすべりなど）

## ○第4回ワークショップ 結果

### 1 開催概要

---

■日時：令和3年4月24日（土）13：30～15：00

■場所：Makura showcase

■参加者：24名

ファン・プロジェクト・マクベツ約19名

幕別町 4名

#### ■プログラム

時間	内容
12：30 (15分間)	会場設営 ・受付、椅子の設置等
12：45	関係者打ち合わせ
13：00 (30分間)	受付開始
13：30 (90分間)	開会 ・事業の概要説明（事業スケジュール、今年度のスケジュール等） ・ファン・プロジェクト・マクベツの取り組み説明 ・ランタンイベントの振り返り ・ランタンイベントの感想、改善点、今後のイベントの在り方など
15：00	閉会、撤収

## 2 開催の様子



### 3 意見交換の結果

#### ■ イベントの在り方

##### (1) イベントを長く続けるために

###### ① 開催体制について

- ・住民主体のイベントであったことがよかった
- ・町の主催かボランティア主催か一緒に開催するのかマクラショーケースで開催するのか
- ・商店と連携し、開催することで収益を生みイベントを活用できたらよい
- ・町民ボランティアによる主催でもよいのではないか
- ・高校生が楽しんでボランティアをしていた、清陵高校は地域密着方針の学校のため企画段階から参加してもらえれば違う年代からの意見をもらえるのではないか
- ・自分でできる範囲で楽しくボランティアできる状況がイベントを成功できた理由であったと思う、無理のない範囲で楽しくイベントが続けられたらよい
- ・フォトクラブまくべつは写真を町をPRするために写真を撮影している、これからも参加したい
- ・滝川市のランタンイベントは地元の人がみんなで開催し、ステップアップしようという気持ちで地域を自立させ、イベントが10年以上続く理由だと思う
- ・実行委員会を開き、イベントの協力体制づくりが必要であった
- ・公園の冬の活用は除雪等の対応が必要になる、町が寛容性をもって対応したらよい
- ・町主導ではないいろいろな世代の住民の主導の活動に町がサポートをするような体制が必要

###### ② イベント規模の検討について

- ・次に繋がることを考えた開催規模に
- ・来園者が多くなれば来園者が駐車場に駐車することができない問題もでてくるため、イベント規模は今回が妥当だったと思う。自分たちの身の丈にあったイベント規模に

###### ③ イベントの目的・内容の見直しについて

- ・イベントに来てもらうことが目的か手段か。
- ・紙製ランタンであることの意味があれば更により
- ・イベントにみんなが肯定的、好感をもっていた理由はランタンの炎や星、街の明かり
- ・イベント会場が作りだした1/fによる癒しや心地よさにあると思う
- ・イベントをみんなで繋げてこどもたちに広がればよい町の未来に繋がる
- ・夜の開催は子連れでの参加は難しい、昼のイベントがあればこどもがいても行きやすいイベントになる。(雪あそびができる、など)
- ・だれでも、どこからでも楽しめるランタンイベントとしてイベント内容の整理が必要
- ・ランタンの明野ヶ丘公園ではなく、みんなが楽しめる「明野ヶ丘公園」知ってもらうための「イベント」という整理が必要
- ・ランタンの表彰
- ・ランタン、ローソクの形状工夫

- ・各地でランタンを照らす内容に変更すれば駐車場問題はなくなる

#### ④ 情報発信方法について

- ・周知不足であった。町外でも知ることができる周知方法、お金をかけない手法に
- ・イベント写真を活用した情報発信ができればよい

#### ⑤ イベント開催を通して見えてきた問題

- ・公園まで行く手段がない
- ・イベント規模が大きくなった場合駐車場が不足する

#### ■ イベントの感想

- ・イベントを通して、いろんなことをやっていいんだということを広げられたらよいと思っ  
てもらえたら
- ・子どもたちが火を着けるところをみていてくれたことに感動した、明野ヶ丘公園の存在を  
覚えてもらえるために何かできないことがないか
- ・イベントをきっかけにいろんな方との出会いがあり地域の人と繋がれた

#### ■ 公園施設について

- ・明野ヶ丘公園が活用されなくなった理由は何か
- ・駐車場を含め、園内が真っ暗だったので足元を照らすものがあればよかった
- ・星がきれいなので、電灯が上ではなく下にあるとよい
- ・誘導（道標）がない
- ・暖が取れる場所があればよいのでは
- ・野外学習の場に活用できるような公園になればよい
- ・町外町内問わず遊びに来たりするような楽しい公園になればよい
- ・遊具ばかりではなく、自然を活用した遊び（自然ビンゴ・水遊び・アウトドア、など）が  
できる場があればよい
- ・凹凸のない園路に
- ・子供用トイレ、おむつ替えスペースの整備
- ・悪天候時休める施設
- ・飲食できる場所
- ・遊び道具の貸出
- ・既存施設の活用

# 第3・4回ファン・プロジェクト・まくべつ を開催しました！

令和3年3月13日（土）、令和3年4月24日（土）に明野ヶ丘公園や幕別のまちについて考える「ファン・プロジェクト・まくべつ」を開催しました！

## 第3回ファン・プロジェクト・まくべつ



### ●ワークショップを振り返ろう

#### 「MAKUBETSU TSUNAGU LANTERN\SPRING!!」

第1回・第2回で話し合ってきた内容の振り返り、明野ヶ丘公園再整備への気持ちを高めるためランタンイベントを開催しました。当日は1,100個の手作りランタンをワークショップ参加者13名とボランティアスタッフ約50名で灯し、約250人の来場者の方々にランタンで照らされた幻想的な明野ヶ丘公園を楽しんでいただきました。会場では来場者の方に幕別のまちや明野ヶ丘公園のよいところやより良くするためのご意見を聞き取り調査を行いました。その一部をご紹介します！

### 来場者の方のご意見（一部）

#### ●幕別のまちについて

- ・町民が元気で人がよい
- ・自然環境がよい、おいしいものがある
- ・まちの魅力の再認識と発信が必要
- ・若者の居場所づくりをすることで町が元気になる

など

#### ●明野ヶ丘公園について

- ・自然が豊かで景色もよい
- ・きてもらえるように情報発信が必要
- ・新機能導入を（遊具、屋内遊戯施設等）
- ・アクセス性の改善が必要
- ・子供がのびのびと遊べるイベントの開催をしてほしい

など



▼ボランティアスタッフによる当日準備



▼清陵高校生によるスープの提供



▼当日の会場の様子



開催にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました！

## 第4回ファン・プロジェクト・まくべつ

### ●イベントを振り返ろう、在り方を話し合おう

3月13日に行われたランタンイベントの感想や改善点・反省点、イベントの在り方について17人が集まり意見交換を行いました。明野ヶ丘公園で実際にイベントを自ら開催することで現在の明野ヶ丘公園の課題等を違う観点からみつけることができました。



## ○第5回ワークショップ 結果

### 1 開催概要

---

■日時：令和3年7月10日（土）13：30～15：30

■場所：町民会館2階講堂

■参加者：11名

幕別町 4名

オブザーバー（佐藤氏、柏倉氏） 2名

株式会社KITABA 4名

#### ■プログラム

時間	内容
13：00 (30分間)	受付開始
13：30 (5分間)	開会 ・前回の振り返り、今日のスケジュールについて説明した。
13：35 (95分間)	意見交換 【テーマ①「幕別のまちづくりについて」】 【テーマ②「明野ヶ丘公園のあり方について」】
15：10 (20分間)	意見共有 ・2つのテーブルで話し合われた意見について内容を共有した。
15：30	閉会

## 2 開催の様子



説明の様子



意見交換の様子



意見交換の様子



発表の様子

### 3 意見交換の結果

#### 【A テーブル】

##### (1) 幕別のまちづくりについて

###### ●百年記念公園

- ・収穫祭をすでにやっているの、それらとの差別が必要。
- ・子どもだけでは行けない。

###### ●何を「魅力的な企画を」

- ・食・自然の魅力があるので、それを子ども達に知ってもらいたい。
- ・押しつけはしない！
- ・イベントなどやっている人が楽しんでいる姿が人を呼ぶ。

###### ●誰のために「地元の子どものために」

- ・子どもだけで来れるような場所が限られている。
- ・地域で、子どもをがっちり育てたい。
- ・子どもに興味を持ってもらうには、親がキーになる。

###### ●農業・食について

- ・千葉さん邸にて、地元野菜のピザづくりパーティー
- ・いただきますカンパニーは食育をやっている。
- ・各学校では、農業体験はやっている。
- ・『食べる』は人が来る。
- ・JAの青年部で、親子の農体験をやっているが人が集まらない。
  - ・なぜ来ない？
    - ・身近過ぎて来ない？
    - ・同友会は人気。
- ・本町・札内・忠類の3つがバラバラで、1つとして考えていないのが問題。

###### ●イベントについて

- ・自分が楽しむことが一番大事。
- ・はしご酒。
- ・二ラをくろうかい。
- ・じゃがいもチーズをひたすら食べる。
- ・係留気球
- ・自然を感じながら色々やりたい。
- ・音楽イベント
- ・色々な人が集まる会議→飲みながら企画会議
- ・着物ファッションショー→着物の着付けをしてステージに！

## (2) 明野ヶ丘公園のあり方について

### ●公園までの交通のしくみ

- ・まくバスの活用？
- ・シャトルバス

### ●ノルディックウォークイベント

- ・初心者から、プロアスリートまで
- ・健康になる。
- ・クロススキーコースにもなる→アイスクロス？

### ●モトクロスコースの拡大

- ・山本幸平さんのレガシーを残す。

### ●地元野菜を生かす

- ・野菜の販売
- ・じゃがいもチーズパーティー
- ・地元野菜のピザパーティー
- ・関わる人が楽しんでほしい

### ●イベント開催

- ・なぜイベントをやらなくなったか、知りたい。
- ・音楽イベント開催  
R3年10月23日 10:00~19:00  
17組のアーティストが来る予定

### ●色々なエリアがある

- ・ベビーカーでも来れるエリア
- ・ピクニックシートで食を楽しむ
- ・「歩く」を楽しむ。
- ・メインステージ
- ・アートスペース→ライブペイント
- ・気球
- ・着物ファッションショー at ピラ・リ→撮影会もセットで
- ・屋根のある多目的スペースが必要！！  
→休憩所、控え室、WS出来るスペースが必要

●自然を感じながら…→カシワの葉を生かせないか？

- ・中札内の熊谷さん（作家さん）に、カシワアートWSをお願い
- ・カシワを使った料理（by 千葉さん）
- ・板倉さんもできる

【B テーブル】

（1）幕別のまちづくりについて

●若い人の居場所が少ない…

- ・子ども食堂、図書館、Makura あまりないかも…

●地元の野菜を食べれる場所が少ない

- ・地元の野菜を食べられる場所があまりない。

●農協施設との連携

- ・農協施設から、産直にしたい。自販とか？
- ・この場所に幕別中のものが集まってくるので、ここと連携すべき。
- ・野菜を集めてどこかで売る→集める人手が大変。

●農と教育

- ・食育として給食に出してみる→食について学ぶ
- ・使っていない農地で小学生が野菜を育てていた。
- ・土づくりから始めてはどうか？→歩ける近さというのが大切。
- ・自分で育てるとおいしい！
- ・空き地を使って、畑としては？
- ・学校のグラウンドの1部を畑にしては？→日々の成長も見られる。

●美しい景色

- ・運動公園からの夕陽がすごくキレイ！
- ・明野ヶ丘の上からは、霧が雲海のようにキレイに見える！

●その他

- ・まちの人たちが畑として使っている区画がある。
- ・子どもがよく集まっている公園がある。

## (2) 明野ヶ丘公園のあり方について

### ●参加型でつくる（ベンチ×アート）

- ・アートとベンチ→みんなと作るベンチ×アートも出来る。

### ●自然を楽しむ

- ・ゆっくりと自然を楽しめる場所がない。
- ・ゆっくりと滞在できない。
- ・芝桜が少し復活してきた。
- ・季節を楽しむ花
- ・歩道も自然のものでウッドチップ

### ●イベント手数料でメンテナンスを

- ・ピラ・リの中でイベントができるが、客席がない。  
→ここでイベント（音楽）ができるといい。雨天でもできる。
- ・メンテナンスはイベントの手数料で賄うといいのでは？
- ・管理用カメラ  
→リス・アカゲラなどを撮影し、視聴者から手数料をもらって管理費へ

### ●メリハリをつけたパークゴルフース

- ・パークゴルフやる人が少なくなり、メンテナンスも悪くなってきた。
- ・せっかくなら、メリハリをつけて幼い者や子どもができるコースにしては？
- ・子ども用のクラブを貸し出すところがない。→みんな協力してくれるのでは？

### ●企業との連携

- ・技術者の思いを受け止める場所
- ・企業でモトクロスコースを持っているところと連携
- ・オムニス・ニッタクスの研究者や技術者と話をしたい。
- ・企業さんの名前を入れる。

### ●コロナ等がおきても感染しない公園

- ・コロナの時、全部公園使えなかった。
- ・大きなベンチ、広い広場ではそれぞれ、近くならずに使用していた。
- ・公園の混雑、予想、状況が見られるアプリ
- ・遊具は必要なものがあつた方がいい、手を洗う場所をつくるといい。  
→子どもがその時に必要としているものがある。
- ・駐車場停めてからのアクセス迷う。

## ●子育て世代に来てもらうため

- 人が入っていないときは透けていて、人が入るとガラスが曇って見えなくなるトイレがあるといい。
- おむつ替えスペース→トイレ+〇〇で、人がいてくれるといい。
- 『カフェ+トイレ』だと、人は集まってくれる。
- 暖をとれる場所は大切。
- 販店があり、常に管理されているといい！

## ●その他

- 小屋（スキー場）が充実すると人ももっと来るのでは
- 年間の見どころを整理する
- マイナースポーツをウリに！

# ファン・プロジェクト・まくべつ ニュースレター vol.4

## ●第5回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！

感染症も落ち着いて来たところで、令和3年7月10日（土）に、第5回ファン・プロジェクト・まくべつを再開しました！大人11名がこれまでの意見を振り返りながら、幕別のまちが、明野ヶ丘公園がこうなったらいい、についてゾーニングを行いました！



2つのグループに分かれて、これまでの意見のまとめから、これが大事！と思う事柄を選んで、それを実現させるためにはどうしたら良いか、について話し合いました。

### 幕別のまちづくり、これが大事！

- 1：幕別の自然と農業による良い風景と美味しい食を楽しみ、大切にすまち
- 2：子どもがのびのびと育つ農業と教育が一番のまち
  - ・明るく素直な子どもが育つ環境を守る
  - ・地域全体で子どもを育てていく
  - ・若者の居場所づくり
- 3：企業と連携して取組むまち  
幕別の魅力や情報を上手に発信できるまち
  - ・移住推進や利便性の向上



そのほか

まちづくりの担い手を育てる／資源や地の利を活かした賑わいのあるまち／人と地域が交流するまち／幕別ならではのスポーツを活かしたまち／花でおもてなしをするまち／安全・安心なまち／夜も明るく輝くまち

### 明野ヶ丘公園のあり方、これが大事！

- 1：様々なイベントを楽しめる公園
  - ・明野ヶ丘公園のでイベント
- 2：自然の中で四季を通じて楽しめる公園
  - ・明るくきれいで、維持管理ができていく公園
  - ・自然環境の充実
- 3：今あるものを活かした公園
  - ・明野ヶ丘公園でしかできないこと、自然環境、景観が良い

そのほか

メンテナンスの負担が少ない公園／学習や発表の場となる公園／地元企業と協働でつくっていく公園／自由な発想で使いこなせる公園／夜も楽しめる公園／地元の人が毎年行く仕掛けのある公園／施設や設備が充実した公園／柏の木が有効活用されている公園／景色と食べ物を楽しめる公園／周辺の町との連携／上手に魅力発信している公園



# ファン・プロジェクト・まくべっ ニュースレター vol.5

## ●赤ちゃんクラブへのヒアリングを実施しました！

保健福祉センターで活動されている赤ちゃんクラブの皆さんに、幕別のまちが、明野ヶ丘公園が、どうなったらいいかについてヒアリングを行いました。子育て中のお母さんならではのお話がたくさん聞けましたのでご紹介します。

### 幕別のまちづくり、こうなったらいい！

- まち全体をめぐるように
  - ・中学生が子供だけで街を巡るのにちょうど良いスケール。歴史資源や自然資源を子供だけで周れるようになっていけると良いなど
- 静かで子育てするには良い環境
  - ・街の印象は静かで子育ての支援がしっかりしている。
- 買い物は札内地区や池田へ
  - ・日曜は商店街がお休みの店が多いので、買い物は札内や池田に行ってしまう。JRの駅があるのに閑散としていてもったいないなど
- 子育て世代が集える施設の充実を
  - ・子育て支援センターが一箇所しかないので使えないことが多い。子供を連れてお母さんたちが交流できる場がもっとたくさんあったらいい。
- 公園と連携したまち
  - ・街中や公園などで野菜の直売などがあると出かけたついでに立ち寄りたりできて良い。



### 明野ヶ丘公園のあり方、これが大事！

- 明野ヶ丘公園の使い方
  - ・お散歩したりスロープをゴロゴロしたりして遊んでいる。
  - ・落ち葉がたくさんあるので落ち葉にダイビングしたり、舞あげたりして遊ぶ。
  - ・ピクニックなど。
  - ・家族で利用できる。おじいちゃんはPG、お母さんと子供は散歩など。
- 明野が公園への要望
  - ・ベビーカーだとスロープがキツくて思いのほか大変な事になる。昔の遊具エリアのところからベビーカーで帰ってくるのは大変。平坦エリア、斜面のスロープエリアなどの案内が必要か。
  - ・街灯が少ない。
  - ・MTBのコースもあるので、貸自転車があってもいいのでは。
  - ・トイレは数カ所にあるといい。
  - ・森のある公園なので、遊具などは森の木陰にあると暑い日などは利用しやすい。
  - ・大型の遊具（グリーンパークのように年代別に遊べる遊具など）や水遊び場があるといい。
  - ・雨宿りができる施設（屋内遊戯施設もあるといい）があって、芝生の広場、水場、遊具があると小学校の利用が増えるのでは。
  - ・遊戯の周りには安全性を考慮してゴム舗装がいい。（雨上がりも排水性がいい）



## ○第6回ワークショップ 結果

### 1 開催概要

■日時：令和3年8月21日（土）13：30～15：30

■場所：町民会館2階講堂

■参加者：9名

幕別町 3名

オブザーバー（佐藤氏、柏倉氏） 2名

株式会社KITABA 2名

#### ■プログラム

時間	内容
13：00 (30分間)	受付開始
13：30 (5分間)	開会 ・今日のスケジュールについて説明した。
13：35 (5分間)	前回のふりかえり ・前回の意見交換会で出された意見のまとめを説明した。
13：40 (10分間)	計画案について ・「まくべつのまちづくりについて」と「明野ヶ丘公園のあり方について」の計画案について説明した。
13：50 (90分間)	意見交換 【テーマ①「まくべつのまちづくりについて」】  【テーマ②「明野ヶ丘公園のあり方について」】
15：20 (10分間)	まとめ ・出された意見の内容について確認を行った。 ・ファン・プロジェクト・まくべつの今後について、町民・民間有志により、継続していくことについて話し合った。
15：30	閉会

## 2 開催の様子



説明の様子



意見交換の様子

### 3 意見交換の結果

#### (1) まくべつのまちづくりについて

##### ○「美味しい食」には野菜だけではなく果樹や山菜などもテーマに盛りこむ

- ・昔、公園のそばに住んでいたが、昔は公園のあたりはうっそうとした森だった。当時は、コクワなど、いろいろな木の実がなっていて、食に困らなかった。今でもこの辺を歩く人は足腰が丈夫である。
- ・木苺、グスベリー、ユスラウメなど、食べられる実のなる木があるとよい。
- ・農薬を使わないものを植えて自由に採って食べることが出来るようにするとよい。
- ・恵庭のはなふるで、ブルーベリーを植えて、果樹食べ放題にしているが、とても人気がある。
- ・今でもウォーキングイベントでは食べられる実を教えてくれる。
- ・果樹については、かつて、お風呂のところに集めた経緯がある（果樹園クラブ）。

##### ○コミバスを活用して公園と町をつなぐ

- ・まくべつを案内するときのネックとして、公園とまちのつながりが無いこと。まち案内のなかに明野ヶ丘公園を加えたいが、交通の問題でコースに盛りこむことが出来ない。
- ・普段案内しているコースは、半日（2～3h）程度。昼食をはさむことが出来ればもう少し長いコースも可能。ニッタの森の案内では、工場長がいなくても、森や外観を見てもらいながら、資料館見せるといったコースでやっていきたいと思っている。
- ・まちと公園のつながりでは、歩くコースと車のコースの両方が必要である。
- ・コミュニティバスを活用することは出来ないか。
- ・コミュニティバスは街中をぐるぐるまわっているが、本当は周辺の人が困っている。
- ・曜日を決めての運行でも良いので、公園までも運行してほしい。あるいは、天気によって運行するというのもよい。
- ・山本商店前でもバス停を設けて、公園に行く前に寄って必要なものを買ってもらおうと良い。
- ・昔使っていた「この先お店ありません」看板を立てると面白い。
- ・コミュニティバスは、ベビーカーで乗れるのか？
- ・明野ヶ丘公園はイベント時など駐車場が足りなくなる。バスによる交通が出来ると良い。

##### ○まちなかの印象を明るくしたい

- ・お店がなくなってきているせいもあり、まちの中が暗いと感じる。今やっているお店も、19:00～20:00には店が閉まってしまうため電気を消してしまう。
- ・明りだけでもつけておけないか。国道から街に入るときにはやはり明るくなってほしい。
- ・明りだけでなく色で印象を変える方法もある。
- ・空き店舗も舗装もグレーで、街路樹も育ってきて暗い印象がある。
- ・光だけでは足りないのではないか。逆に、シャッター街というのが目立ってしまう。
- ・花植えだけでも違う。国道から線路までの区間で統一感を持ってやると良い。
- ・空き店舗に看板やイラストを描いても良い。

- メインストリートのショウウィンドウだけでも電気を付けておくのも良いのではないか。
- 昔の映画の看板のように、昔の建物の看板をつくって、もともとあった建物の場所に置いて、昔の街並みのように演出するのも面白いのではないか。

### ○空き店舗を活用した子供の居場所づくりや交流・活動の場づくり

- もう少し空き店舗が活用されると良い。
- 空き店舗を活用して、人が交流できる場があるとよい。そのような場所があれば、子供も歩きながら休憩もできる。
- マクラショウケースのように、本町で人が活動しやすい仕組みがもっとあるとよい。
- モノを維持するコストの問題もある。
- 空き店舗が古すぎて活用が難しい物件が多いのも現状としてある。

## (2) 明野ヶ丘公園のあり方について

### ○下る楽しみづくり

- 数年前、公園を散歩していたが、頂上まで登るのは気持ち良いが、登った後、帰ると思うとよく心が折れた。何か、下る楽しみがあると良い。
- ターザンロープやジップラインをつくって楽しみながら降りれるようにしてはどうか。
- 開けたところを下るだけだと、景色が変わらず飽きてしまうので、森の中も通して、シグザクに降りるジップラインが出来ると良い。

### ○夏期でのリフト活用

- リフトを夏に活用できないか。夏でも登ったり下りたりできると周遊しやすくなる。
- 10月開催予定のLAMP LIGHT FESTIVALで、イベント会場が上下に分かれるため、その移動にリフトを活用できないかと考え、相談した経緯があるが、リフトの管理の管轄が違うという理由で難しいと言われた。
- 今年は無理でも、今後、計画を立てて協議をしていけば可能になるかもしれない。

### ○カシワを活かした様々な遊び・楽しみを考えたい

- 明野ヶ丘公園は、やはり、カシワの葉のイメージが強い。何か、カシワを活かした取組を考えたい。
- カシワの葉に加えて、どんぐりのイメージも強い。
- 枯葉で遊ぶプールづくりをしてはどうか。
- たんぽぽコーヒーのように、どんぐりコーヒーはどうか。
- カシワの葉は別の会を作って研究・話し合いをワイワイやると良い。
- 公園内にはファイヤースペースがあると良い。

### ○企業との連携

- 何をやるにもお金が必要である。そういった意味でも地元企業と連携していくことが大事。企業のメリットになる事で連携し、お互いに相乗効果をあげることのできる関係づくりが出来るとよい。
- 企業の社会貢献度が良く言われるようになったが、ボランティアの強制のように感じることもある。
- お金の為だけで企業と連携するというのは良くない。なかなか継続しない。お金集め自体もなかなか心折れる仕事。
- 明野ヶ丘公園が趣味というくらいの会社と連携していくことが大事。

## ○電動付き自転車の活用

- ・電動付き自転車の貸し出しをしてはどうか。街中で電動付き自転車を借りて公園まで乗るとちょうど良い距離だと思う。
- ・園内も自転車で登れるような舗装にすると良い。

## ○パークゴルフスについて

- ・パークゴルフの今後の在り方を考える必要がある。
- ・明野ヶ丘公園のパークゴルフコースは思っているより使われていない現状がある。だが、使われていないから空いていて好きという人もいる。
- ・明野ヶ丘公園のコースは樹木により日影があるので夏は良い。逆に、秋は落ち葉が多くてやりにくい。
- ・イベントをする際に、パークゴルフコースのスペースに仮設ブースを設けることが出来ないと言われた。
- ・パークゴルフスとしてより活用するのか、別に活用するのか考えるべき。
- ・パークゴルフはまち全体で考える必要がある。町全体での維持管理費の問題もある。
- ・全公園でパークゴルフスが本当に必要なのか。どのコースもとても綺麗に維持管理されている。そのためには管理費もかさんでいるのではないかと思う。
- ・明野ヶ丘は平地が少ないため、ピクニックなどもしたい。
- ・パークゴルフ人口が減少している理由は競技性が強くなっているから。もっと子供向けや初心者向けのコースも作って、パークゴルフ人口を増やしていくための入口を作るべき。明野ヶ丘公園を、初心者専用や子ども専用のパークゴルフスに特化して、面積も縮小したら良いのではないか。親が目の届く範囲で遊ばせることが出来るようになる。
- ・明野ヶ丘公園は平地が少ないので、すみ分けと複合で考えると良い。

## ○花を活かした見どころづくり

- ・長野県で、秋にコスモスを咲かせることでたくさんの方が来ている事例がある。
- ・花を活かした見どころをつくと良い。
- ・昔、斜面に芝桜を植えていたが、管理面などの理由で無くなった経緯がある。
- ・当初は、芝桜ではなく、コスモスの予定だった。コスモスの方が管理は楽。事情により芝桜になった。
- ・コスモスやひまわりなど、大きくなるものの方が良い。菜の花も良い。緑肥にもなるひまわりぐらいが良いのではないか。
- ・斜面では、一年草で、種で育てられるものを活用すると良い。
- ・種まきイベントを開催したり、秋には種取りコンテスト（量によって賞を授与）をするなど、町民が楽しみながら関わると良い。
- ・コスモス植えて、リフトを動かすといったような複合的な使い方をしていくべき。
- ・色々な場所で季節ごとに花咲くと良い。
- ・いずれにしても、継続して使えるように、管理が大事。

## ○情報発信について

- 情報の出し方を計画にも記載すべき。(ex)ベビーカーで行けるエリアの案内など
- 公園の特設サイト「パパママにとっての虎の巻（子供には見せない）」をつくる。そこに、公園で見られる鳥や野草など、地元の専門家の力を借りてここならではのものをまとめる。その虎の巻を使って親子で散策しながら親が子どもに説明できるようにすることで、子どもにとって、親がかっこいい存在になる。

# ファン・プロジェクト・まくべつ ニュースレター vol.6

## ●第6回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！

令和3年8月21日（土）に、第6回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！9名の方が参加し、これまでの意見を振り返りながら、幕別のまちづくりについて、明野ヶ丘公園のあり方について、基本的な考え方、実現のアイデアについて意見交換を行いました。

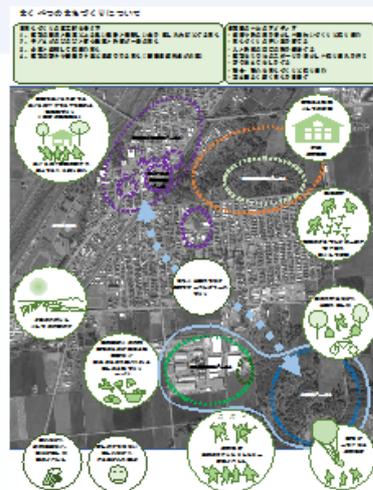


### 幕別のまちづくりについて

まちづくりの基本的な考え方、実現のアイデアをさらに充実させるために、より具体的な意見が出されました。

- 「美味しい食」には野菜だけではなく果樹や山菜など畑作物以外の食もテーマに盛り込みたい
- コミュニティバスを活用して公園とまちをつなぎたい
- まちなかの印象を明るくしたい
- 空き店舗を活用した子供の居場所づくりや交流・活動の場をつくりたい

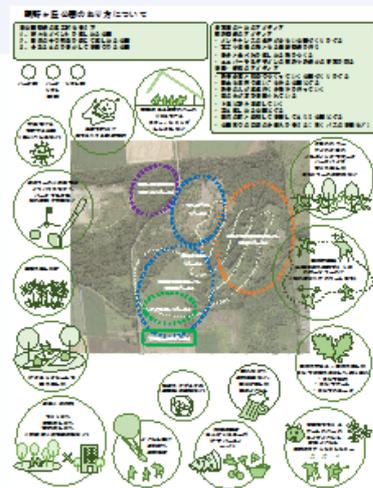
そのほか、まちの中心部と公園をつなぐ交通やウォーキングコースの設定等の考え方を確認しました。



### 明野ヶ丘公園のあり方について

公園のあり方についても、基本的な考え方、実現のアイデアをさらに充実させるために、さらに具体的な意見が出されました。

- 下る（山頂から降りる）楽しみをつくりたい
- 夏季にリフトを活用できるようにしたい
- カシワの葉を活かした様々な遊び・楽しみを考えたい
- 企業と連携した公園づくりを行いたい
- 電動付き自転車を活用したい
- パークゴルフ場のあり方を工夫したい
- 花を活かした見どころづくりを行いたい
- 情報発信を進めたい



### ※今後の進み方

まちづくりと公園のあり方については、令和3年10月9日に開催予定のファン・プロジェクト・まくべつでまとめの確認を行なったのちに、さらに多くの町民の皆さんにご意見をいただくパブリックコメントを実施して基本計画を策定する予定です！！  
その後は実現に向けた取り組みを町民の皆さんと進めていく予定です！

## ○第7回ワークショップ 結果

### 1 開催概要

■日時：令和3年10月9日（土）13：30～15：30

■場所：町民会館2階講堂

■参加者：12名

幕別町 4名

オブザーバー（佐藤氏、柏倉氏） 2名

株式会社KITABA 3名

#### ■プログラム

時間	内容
13：00 (30分間)	受付開始
13：30 (5分間)	開会 ・今日のスケジュールについて説明した。
13：35 (25分間)	計画案の説明 ・計画案のまとめを説明した。
14：00 (30分間)	質疑応答 ・説明した計画案について質疑応答を行った。
14：30 (50分間)	意見交換 【計画のテーマについて】 ・計画案を説明する言葉について意見交換を行った。
15：20 (10分間)	まとめと今後について ・テーマの絞り込みと公園整備の今後について説明した。
15：30	閉会

## 2 開催の様子



### 3 意見交換の結果

#### (1) 計画案について

- 今までのご意見で、カフェがあったり、明野ヶ丘公園で美味しいものを食べてゆっくり過ごしたいなどの意見があったが、それはどこに含まれるのか？  
→④屋内施設に含まれるイメージで記載していた。
- 室内施設だけでなく、その内容を具体的に書くと今までの自分の意見が反映されているのもわかりやすい。
- 利益のことも考えていかななくてはいけない。収益を上げるために、人が常に公園にいるといい。  
→維持費がかかるので、収益を生み出していく視点はとても大切である。
- みんなが公園に気軽に行けるようにするためには、駐車場とトイレ、水が必要であることと、木が密集しているの、樹木の整理が必要。
- 女性からするとトイレが汚いといきたくない。その辺りを最低限しっかりとすれば、みんな行きたくなるのではないか。
- 今回の整備を検討するにあたって、参考にした公園はあるか？この公園のベンチマークは何か。  
→事務局からモエレや石山緑地などの例を説明
- 明野ヶ丘公園は中心となる場所がわかりにくい。どこに尋ねていったらわからない。公園を整備する際に、何か核となる場所があると良い。
- センターハウスなどの建物があるとわかりやすい。センターハウスとトイレを分けて作るのか？一緒にしても良い。
- センターハウスは簡易なものでも良い。
- 何かイベントを実施しようとして、備品が必要になってきた時も、椅子やテーブルをしまっておける場所が必要である。
- 常駐する人がそこで利益を上げられるようにすることが大切である。
- 帯広市のはぐく一むくらいの規模で十分だと思う。木のポールプールがあれば子どもたちは充分喜んで遊ぶ。
- センターハウスはそんなに大きくなくて良い。
- 切った柏の木を建物に使用することは可能か？子どもたちにノコギリ体験をしてもらいながら作っても面白い。
- 自分の経験で、設計者は利用者のことをわかっていないことが多い。
- 例えば、トイレの設計をするならば、トイレを掃除する人が設計段階から入ってもらい、掃除しやすいトイレの形を一緒に考えていけるといい。
- ガラスをたくさん使用するトイレについても、ガラスを拭く手間が大変である。
- 柏の間伐材を公園施設に使用するのはいいと思う。みんなで小人やカカシを作って森の中に散りばめては？

## (2) テーマについて

- 自由に使える
- つくりすぎない可変性のある（モジュールハウスのイメージ）
- まくべつつなぐランタン（心をつなぐ）
- 明野ヶ丘公園とまちをつなぐ
- バリアフリー、共生、世代間をつなぐ
- 普段使いで、集う公園、ナチュラル
- 都会と自然をつなぐ
- 家族だんらんでできるきれいな公園→つなぐ
- 多様性とつながり「かしわがつなぐ、リスがしやすい」
- 「どんぐり」はほっこりするイメージ
- かしわの葉がつなぎ、リスがしやすい
- キーワードからシーンをイメージして物語をつくる。こどもたちがワークショップで作成した  
みらい物語とつなげる（ヒント）
- リスのティーパーティー
- ホットとできる場所、いやし。この公園があってよかったと思える場所。
- 一人でぼーっとできる。
- 楽しい！いつも楽しい気分。
- ゆっくり時間を忘れて自然の中で楽しむ。
- 時を忘れて、時計がなくても
- 利用につながる（再整備の目的）
- 利用を増やす、使われる。
- 誰に？みんなに！
- 大きなインカのめざめ（みんなでインカのめざめを掘っているイメージ）
- 公園はバクハツだ！
- くもにのる公園
- 大地が空に恋をして
- 何も無いのがいい。何もなくてすいません。
- 人、事、物、情の関係図。

### (3) テーマの絞り込み

公園再整備のテーマについては、提案されたキーワードを事務局で以下のように整理し、最終選考については事務局に一任することとした。以下の3案から、斬新でチャレンジし続け、自由に活用する公園を想起させるC案をテーマとした。

#### A案

～自由なふだん使いが楽しい。世代と多様性と、まくべつをつなぐ公園づくり～

自由な発想で自由に使える公園って、ありそうでない。  
イベントやコンサートなど特別な日はもちろん、  
毎日の散歩に、お昼休みに、放課後や仕事帰りに、  
いつ行っても自分の居場所が見つけれられる、誰と行っても楽しい。  
小さな子から、おじいちゃん、おばあちゃんまで、  
いろんな世代が思い思いに過ごす事ができ、  
多様性が創造性を育み、新たな活用と新たな価値を育む。  
公園がまくべつのまちをつなぎ、訪れる人をつなぎ、心と心をつないでいく、  
つなぐ公園づくりを目指します。

#### B案

～かしわの葉でつながる、いやしの公園づくり～

公園に広がるかしわの林。  
かつて幕別のまちはかしわの林で覆われていました。  
春は柔らかで爽やかな芽吹き、  
夏は大きな葉っぱの深い緑、  
秋はコロコロしたどんぐりが誰にでも愛され、  
寒い冬もかさかさの茶色い葉っぱがゆらゆら残る姿がいじらしい。  
誰にでも愛されるかしわの葉が、公園を訪れる人を癒し、どんぐりがみんなをつないでいく。そんな公園になったらいいな。

#### C案

～りすとうさぎのティーパーティー～

明野ヶ丘公園はたくさんの木々や木の実がある自然にあふれた公園。  
林の中をりすやうさぎたちが楽しく駆け回り、今にも仲良くティーパーティーでも始めるかのよう。  
森の動物たちに出会うと、時が経つのを忘れ、私たちを楽しい世界に連れて行ってくれる。  
この公園で自由にのんびりと、幸せで心豊かな時間を過ごして欲しい。  
そして、多くの人がつながる場所になって欲しい。

## 公園再整備のテーマ

～りすとうさぎのティーパーティー～  
ひとがつながる公園をめざして

明野ヶ丘公園はたくさんの木々や木の実がある自然にあふれた公園。  
林の中をりすやうさぎたちが楽しく駆け回り、  
今にも仲良くティーパーティーでも始めるかのよう。

森の動物たちに出会うと、時が経つのを忘れ、私たちを楽しい世界に連れて行ってくれる。  
この公園で自由にのんびりと、幸せで心豊かな時間を過ごして欲しい。  
そして、多くの人がつながる場所になって欲しい。

# ファン・プロジェクト・まくべつ ニュースレター vol.7

## ●第7回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！

令和3年10月9日（土）に、第7回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！12名の方が参加し、基本計画（素案）の確認と、さらに計画が良くなるように意見交換を行い、再整備計画のテーマについて話し合いました。

### 計画案について

#### 主な意見

- 利益を生む活用を
  - ・利益のことも考え。収益を上げるために、人が常に公園にいるといい。
- 駐車場とトイレと水を
  - ・みんなが公園に気軽に行けるように、駐車場、トイレ、水が必要。
- 既存樹木の管理を
  - ・木が密集しているので、樹木の整理が必要。
- わかりやすい施設づくりを
  - ・困ったことや質問を気軽に聞くことができる施設、情報を提供する場所が必要。
- イベントがしやすい施設機能を
  - ・イベント時の備品庫、椅子やテーブルをしまっておける場所が必要。
- 公園内の間伐材を利用
  - ・間伐した柏の木を建物に使用したり、子どもたちにノコギリ体験をしてもらう。
- 設計者、管理者、利用者が一緒に考える
  - ・掃除しやすい、使いやすい、管理しやすい施設づくりを。

### 再整備のテーマについて

- テーマとなるキーワード
  - ・自由に使える
  - ・作りすぎない可変性のある
  - ・まくべつつなぐランタン（心をつなぐ）
  - ・明野ヶ丘公園とまちをつなぐ
  - ・バリアフリー、共生、世代間をつなぐ
  - ・普段使いで、集う公園、ナチュラル
  - ・リスのティーパーティー
  - ・時を忘れて、時計がなくても
  - ・一人でぼーっとできる。
  - ・家族だんらんできるきれいな公園
  - ・多様性をつながり「かしわがつなぐ、リスがしやすい」
  - ・大きなインカのめざめ（みんなでインカのめざめを掘っているイメージ）
- 都会と自然をつなぐ
- 楽しい！いつも楽しい気分
- くもにのる公園



★テーマとなるキーワードから再整備のテーマを決定しました！

～リスとうさぎのティーパーティー～  
ひとつつながる公園をめざして

基本計画がまとまりました、今後も皆様のご意見を伺いながら、計画を進めていく予定です。

